

## 令和3年度 市長のタウンミーティング実施報告書

|        |                               |    |                                |      |     |
|--------|-------------------------------|----|--------------------------------|------|-----|
| 会場名    | 新川文化ホール                       | 日時 | 10月11日(月) 19時00分より<br>20時30分まで | 参加者数 | 26名 |
| 市側の出席者 | 市長 村椿 晃<br>企画部長、情報広報課長、企画政策課長 | 司会 | 情報広報課 宮野 浩一                    |      |     |

### 1. 市長談話

市長 村椿 晃 「新時代の魚津のまちづくり」を語ろう

第5次魚津市総合計画 ～ともにつくる 未来につなぐ 人と自然が輝くまち魚津～

#### ①魚津市の最近の話題

- 東京2020パラリンピック 魚津市から2人のメダリストが誕生！
- 新型コロナワクチン接種状況
- 魚津市財政健全化計画の進捗状況
  - ・基金繰入に頼らない持続可能な行財政運営の確立
  - ・緊急時に備えた貯金残高の確保
- 魚津市のふるさと納税の状況

#### ②「第5次魚津市総合計画」について

- 総合計画紹介番組放映  
「つくろう！魚津のまち～教えて！ソーゴーケーキ」12分38秒
- 魚津市の人口推移と将来人口
- 雇用の場づくり
  - ・魚津市大規模投資を伴う雇用拡大奨励金の創設
  - ・女性活躍社会推進事業
  - ・魚津の農林水産業体験・応援プロジェクト
  - ・6次産業化関連の取組
- 住宅対策
  - ・魚津市子育て新婚世帯住宅取得支援補助金の創設
  - ・居住誘導区域住宅取得支援補助金の創設
  - ・空家対策支援事業
- 子育て支援
  - ・切れ目のない子育て支援
  - ・子育て環境の整備（検討中）
- 健康づくり
  - ・高齢者の保健・介護予防の一体的事業
  - ・高齢者の生活支援の充実

#### ③魚津市制施行70周年記念事業

- 魚津市制施行70周年記念事業シンボルマーク

## 2. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

### ○ワイン醸造所（天神山）について

ワイン醸造所ではワインを購入できるのか。

（村椿市長）

醸造所にはワインショップの他、魚津の食材で作ったおつまみを食べながら試飲できるカウンターを設置する予定ですので、楽しみにお待ちください。

### ○海岸の美化・市のアピールについて

子どもたちが海岸清掃などを行う体験を単発のイベントとしてではなく、市全体でもっと増やしてほしい。魚という字が地名に入っていて、なおかつ魚が美味しい魚津をもっとアピールして欲しい。

（村椿市長）

富山湾は「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟していますが、昨年3月に早月川から片貝川までの8キロの海岸線が「日本風景街道」に登録されました。また今年の5月には、国が指定するナショナルサイクリングコースに認定されました。これらは環境を守りましょうということが狙いなので、ぜひ子どもたちと綺麗な海を守る取り組みをやっていきたいと思えます。

また、海に流れているゴミの8割は内陸から流れてきたものなので、子どもたちとそのことについて調査することも検討中です。

来年は合併して70周年になりますが、魚津に住んでいる人にもっと魚津の事を見つめ直す年にしたいと思っています。歴史の本によると1町11村が合併する前から同じ魚津地域という気持ちがあったそうです。歴史的な経過や「魚津はひとつ」という思いをもう一度確かめ直すような行事に取り組んでいきたいと思えます。

### ○旧小学校の活用について

市内でサッカークラブを運営している。旧小学校のグラウンドやありそドームを借りて使っているが、小学校の統合で廃校になった場所を今後どのように活用する予定なのか知りたい。滑川市の水産高校跡地のように人工芝のグラウンドなどを作れば人を呼べるのではないか。

（村椿市長）

廃校後の校舎の活用は大きな問題です。旧西布施小は取り壊し、旧村木小は公民館と教育センターとして利用し、大町・上野方・上中島・松倉については具体的に決まっていません。しかしながら統合の条件の1つが公共施設の数減らすことであるため、全部を残すことは難しく、最終的には使わない校舎が出てくることをご了承ください。

芝生のグラウンドについては私も興味がありますが、実際に整備をすることとなると難しく、水産高校跡地は企業と連携して実現しています。魚津市では現在スポーツを通じた地域活性化に取り組んでいます。具体的にはパナソニック（株）と連携し、トッププレイヤーによる指導を行ってもらっています。そのような活動の延長線上として、施設の数を増やすのではなく既存施設のグレードを上げる可能性はあります。桃山も企業連携の展開によっては芝のグラウンドになることも夢ではありません。

## ○新川学びの森天神山交流館について

洗足学園の跡地（現在の新川学びの森天神山交流館）の今後の行方は。

（村椿市長）

新聞等でも報道されましたが、通信制の高校の運営をしているIMFという企業から活用の提案がありました。野球部の生徒のために宿舎・体育館を利用し、空いている日は隣接する野球場も使いたいとの提案です。この提案の素晴らしいところは、音楽棟や講義棟については従来通り市民が利用できるということです。また今までは公の施設ということで利用目的に制限がありましたが、民間企業の運営になることにより、弾力的な運用ができるようになります。

天神山周辺には来年ワイナリーもできます。毎年4月には新入生が入学するようになり、新たな賑わいを生む場所になると期待しています。